

平成24年行政事業レビューシート（復興庁、農林水産省）

事業名	森林組合経営再建緊急支援事業（復興関連事業）		担当部局庁	復興庁統括官付参事官（予算会計担当） 農林水産省林野庁林政部経営課			作成責任者	復興庁参事官 尾関 良夫 経営課長 松原明紀		
事業開始・終了（予定）年度	平成23年度～平成28年度		担当課室							
会計区分	東日本大震災復興特別会計 一般会計		施策名	⑬林業の持続的かつ健全な発展						
根拠法令 （具体的な 条項も記載）	-		関係する計画、 通知等	森林・林業基本計画（平成18年9月8日閣議決定）						
事業の目的 （目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内）	東日本大震災により被災した森林組合等において、経営再建及び経営維持安定のために必要な資金を民間金融機関から借り入れた場合に、その借入金に対する利子助成を実施し、被災森林組合等の早期復興を図ることにより、復興材をはじめ国産材の安定供給、地域経済の復興に資することを目的とする。									
事業概要 （5行程度以 内。別添可）	被災した森林組合等の経営再建のための仮事務所の借入、新たな事業地購入・借入れ、新たな事務所の建設、OA機器の購入など経営再建のための借入金に対する利子助成及び、震災の影響による経営環境の変化により、一時的に経営不振に陥った森林組合等の経営維持安定に必要な資金の借入金に対する利子助成を行う。（最長5年、最大2%まで利子助成） 補助率：定額 ※平成24年度は、復興庁で一括計上し、農林水産省で執行									
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他									
予算額・ 執行額 （単位：百万円）	予算 の 状 況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求				
		当初予算	-	-	-	45（復興庁計上）	38（復興庁計上）			
		補正予算	-	-	23（農水省計上）	-				
		繰越し等	-	-	-	-				
	計	-	-	23	45	38				
	執行額	-	-	4						
執行率（%）	-	-	17.5							
成果目標及び 成果実績 （アウトカム）	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 （年度）		
	民間金融機関からの融資にかかる利子助成のため、貸付実績等を積極的なものとして定量的な目標とすることはなじまないが、本事業の対象とした災害復旧等に必要な資金の計画額（23億円）を目安として、融通の円滑化を目指す。			-	-	-	-	-		
	達成度		-	-	-	-	-			
活動指標及び 活動実績 （アウトプット）	活動指標		活動実績 （当初見込み）	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込		
	融資件数			件	-	-	6	-		
単位当たり コスト	(1,500,000円／1組合)		算出根拠	融資枠22.5億円 最大2%利子助成 被災30組合						
平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由						
	利子助成費	44	8	利子助成費については、被災森林組合が予定していた借入が延期されたこと、						
	事務運営費	1	1	短期借入れについては返済が終了したこと等により、後年度負担分が減少した						
	被災森林所有者相談事業費		29	こと、また拡充分として被災森林所有者相談会事業を実施することとしたことによる。						
	計	45	38							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・H23年度執行に係る不用率の大きい理由としては、 ①系統組織による義援金、前年度の収益、復旧事業(がれき処理)等による収入があったこと②当初の被害状況に対し、軽微なところがあったこと③インフラ等の整備に遅れにより、H24年度以降に資金需要が発生する森林組合があること、等によること。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・本事業は新規事業であるため、単位当たりコストを前年と比較することは出来ない。 ・東日本大震災の被災森林組合等に対し迅速かつ円滑な支援を実施するため、これまでも森林組合等に対する支援事業を実施している全国森林組合連合会に交付先を特定したものである。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・本事業は災害関連事業であり、成果目標及び活動実績の達成度を計ることは適当でない。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・東日本大震災復興対策であることから、優先度が高く、国が実施すべき事業であり、被災森林組合等に迅速かつ円滑な支援を実施するため、全国森林組合連合会に交付先を特定した。また、利子助成事業であることから、受益者との負担関係は妥当であり、資金の流れも合理的なものとなっている。さらに、被災した森林組合等の早期復旧に向け適切な執行を図る。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>・本事業は、予算額については、23年度の執行率が17.5%と低い。明確な数値目標を設定し、成果の測定を適切に行う必要がある。以上のことから「執行額と予算額の乖離の改善」、「目標設定と成果測定の実施」を行うべきであり、本事業としては「一部改善」とする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
縮減	<p>・被災森林組合等の被害や経営の状況、被災地域の復興状況等について、森林組合系統や県からのヒアリング等により、これまで以上に的確に把握するよう努め、経営再建や経営維持安定のために必要な資金をより正確に見積もることにより、執行額と予算額の乖離の改善を図ることとする。成果目標については、委員からの指摘を踏まえ、数値目標の設定を検討する。</p>		
平成24年度復興分			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー	新0053

農林水産省
4百万円



【特定・補助】

A.全国森林組合連合会
4百万円

交付申請

- ①利子助成交付申請書の受理・確認等
- ②利子助成金の交付決定(審査を実施)
- ③利子助成金の交付

利子助成

東日本大震災により被災した森林組合等
4百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.全国森林組合連合会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
利子助成費	利子助成	4			
計		4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	田村森林組合	災害復旧関係利子助成	1.4	-	-
2	葛巻町森林組合	災害復旧関係利子助成	0.9	-	-
3	ゆきぐに森林組合	災害復旧関係利子助成	0.7	-	-
4	久慈地方森林組合	災害復旧関係利子助成	0.6	-	-
5	宮城中央森林組合	災害復旧関係利子助成	0.2	-	-
6	気仙沼市森林組合	災害復旧関係利子助成	0.1	-	-
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					